

似島だより

社会福祉法人
似島学園
似島学園高等養護部 発行
〒734-0017
広島市南区似島町長谷 1487
TEL 082-259-2165
FAX 082-259-1021
No. 430
2020年（令和2年）11月号

高等養護部ホームページ <http://ninoshima-kouyou.sakura.ne.jp/>

令和2年度 秋季大運動会

川本

10月10日土曜日、秋季大運動会が開催されました。今年度については新型コロナウイルスの影響により、3密を避けるため無観客で行うことになり、感染予防のため、種目も削減され、フォークダンス、綱引きなどは中止となりました。

運動会直前、台風14号が日本列島を直撃するというニュースが流れ、運動会延期になるかもしれないと思いましたが、広島県は台風の影響を受けることなく、予定通り運動会が開催されました。テントの屋根カバーを一旦片付けるなど、台風対策をし、準備のほうはかなり大変でしたが、無事当日を迎えることができたのでよかったです。

高養生徒は毎年恒例、ソーラン節、エキサイティングリレー、団体競技をメインに参加し、赤白分かれ、勝ち負けを競いました。高養ソーランでは Social Distance を守るため、隊形移動にも気を配り、3密にならないよう考え、演技を披露しました。今年の高養ソーランについては和太鼓を活用することを重点に置き、太鼓の音に合わせて、3年生が入場したり、サビの部分で太鼓を叩き、活気を上げ、退場する際の太鼓の音に合わせて各列の生徒が退場するという流れを作りました。和太鼓を叩く人を選抜し、練習に励んでました。勿論、踊る生徒側も一生懸命取り組み、「ソーラン、ソーラン」と大きな声で、会場を盛り上げていました。

エキサイティングリレーではバトンパスの基本を各チームに分かれ、練習をしてきました。みんなリレーは好きで全力疾走をし、自分のチームを応援する姿が見られました。

高養ジャパン2020ではサッカーボールを使いました。二人一組のペアでパスを回し、1人ずつ台風の目のようにカラーコーンを周り、その先にあるサッカーゴールに向かってゴールを決めるという流れで競技をしました。やはりパスをすることに一番苦労している感じ、難しいそうにしていました。試行錯誤しながら競技を考え、練習を重ねていきました。

本来であれば保護者の方を交えて行うので、今年度はそれが叶わず、とても残念でした。色々あった運動会ですが、僅差で赤組が勝ち、見事優勝しました。来年は例年通りの形で開催されること、コロナが終息することを心から願っています。

農耕

古谷

夏の猛暑と日照り続きで元気がなくなっていたナス・ピーマン・トマトですが、涼しくなるにつれ元気を取り戻ししっかりと実をつけてくれたので、農耕作業では収穫を楽しみながら、新たにじゃがいも・にんじんを植えました。

そして待ちに待った芋掘りを10月15日に行いました。学園のさつまいも畑はユニークな形をしていて、ドーム型の畝をいくつか作りそこに苗を植えています。ドームを覆うようにびっしりと葉が茂っていて、一つの山に何個さつまいもが出来ているのかワクワクしながら学年ごとに協力して丁寧に掘り起こしました。一番多い畝で17個1.7kg、全部で181個22.6kgのさつまいもが収穫出来ました。さつまいもはすぐに食べずに熟成させることによってデンプン質が糖分に変わって甘くなるので、ここから数週間置いておき、その後は皆が楽しみにしている焼き芋パーティーをします。



則川

「お菓子くれなきゃいたずらするぞ」といわれながら迎えたハロウィン。毎年恵贈品として神戸市の坂田裕子様よりお菓子だけでなく飾り付けも送って下さっているので、数日前に女子で飾り付けをしました。袋を開けるたび、かわい〜、これがいいなど楽しそうな声が飛び交っていました。おかげでホールが華やかになりました。いつもハロウィンメイクを楽しませて下さるミーナさんが来られないことも寂しいなと話していました。次はクリスマスですね！



卒業旅行 IN 三次市作木町

川 本

今年の卒業旅行はコロナの影響により、県外へ行くことができず、県内でキャンプを開催することになりました。10月22日(木)~23日(金)、一泊二日の日程で旅行を楽しむことができました。

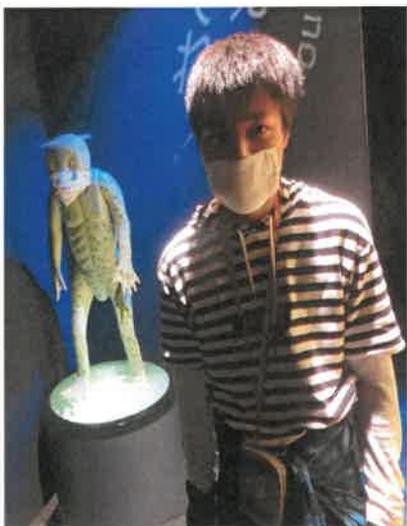
初日は晴天であれば、国営備北丘陵公園へ行き、サイクリングをする予定でしたが、あいにくの雨に見舞われ、サイクリングは中止となり、もののけミュージアムへ急遽行くことにしました。妖怪について少し知ることができました。建物もきれいで、外にはSLも展示されていました。

その後、庄原にある伍楽荘ボウルへ行き、2ゲームほどボウリングを楽しみました。古い建物だったので驚きましたが、中はとてもきれいに保たれており、生徒から「楽しかった、いい思い出になった。」との声を聞くことができ嬉しかったです。

ボウリングを終えると、宿泊先であるカヌーさくぎ公園へ車を走らせ、夕食としてBBQをしました。しかし、雨風が強い中でのBBQだったので、火おこしや屋根用ブルーシートを張るのは大変でした。それでも誰一人文句を言わず、みんなで協力しながらBBQをしました。お肉や野菜が新鮮だったのでお肉もあっという間になくなり、完食しました。

入浴はくまみ湯という温泉施設で、炭の匂いを落としたり、湯船に浸かりみんなと談笑しました。晩にティタイムの時間を設け、無事1日目が終了しました。

2日目の朝、6:30に起床し、朝マックをした後、本来ならカヌーさくぎ公園で釣りをする予定でしたが、前日に雨が降った影響で川の流れが速く、濁っていたので中止となりました。その代わりとしてマリーナホップへ行き、昼食はバイキング、バッティングセンターを楽しんだり、周辺を散策しました。マリホ水族館とゲテモノ展へ行き、終えた後、学園へ帰園しました。みんな、「今回の旅行楽しめた。」という声が多く、3年生の思い出がまたひとつ増えたように思います。これから進路を決める大切な時期に入ります。3年生全員の進路先が無事決まり、卒園までみんなと仲良く、楽しく過ごしてもらいたいです。



若竹寮の作業紹介

加 地

若竹寮の作業場は、実はいろんなところにあります。変わってるところで言うと、学園より歩いて 20 分程離れた場所の土地を善意でお借りしており（通称「みかん山」）、その段々畑で様々な作物を育てています。

1 段目は、田んぼ。ここは、3 年前の豪雨災害で大穴が開き真っ二つに割れてしまったのですが、2 年間かけてやっと修復でき、この度再び甦らせることができました。今年の田植えは、なんと感慨深いものになりました。

3、4 段目にはわがクラスの名物ともなりましたブルーベリーが植わっています。一番古い木はもう 10 数年経ちました。その分大きくなり、一番暑い最中に立派に鈴なり状態に実をつけてくれています。2、5 段目には、レモン、みかんの木。卒業生を送り出すごとに、記念樹として苗木を増やしてきました。6、7 段とまだまだ開拓中なのですが、近年、このみかん山にもイノシシによる被害が後を絶たず、本来、麦やさつまいもなども植えていましたが、見事にやられる始末。少し育ってきた苗木たちを守っていくのが精一杯になりました。

また、そんなみかん山を維持していくのに一番の敵は、実は、すぐ生えてくる草たちでした。山は草の生え方も豪快で、しばらく見ないうちにとんでもない状態に様変わりします。なので、草刈り、草運び作業という環境整備は欠かせない作業としてあります。2 か月おきぐらいに行うので、みんなも段々手際よくこなせるようになるものです。

そんなみかん山作業。初めは、行き来だけでも面倒なので、予定を組むとブーイングの嵐。ですが、なんだかんだ大変でしんどいことだらけなのですが、なぜか、次第に愛着が湧くのでしょうか、卒業生の大半の思い出には必ず「みかん山作業」が上げられています。もちろん、園内の敷地内にも若竹の作業場があります。園舎の裏の土手にはいちご、坂の上の畑にはまたまたブルーベリー、有終寮跡地は、いままさに開拓中・・・と。これには、至る所を耕しては畑にしてしまう M 職員の才能と言いますか、ある意味得意技のおかげだと思います。きっとこれからもまた新たな作業場が作られていくことと思います。



そんな、みんなの思いが詰まった若竹の作業場を、今日も在園生が引き続き受け継いでくれているのであります。

～BOYS 男子棟～

ポップコーン試食会

夏に育てたポップコーン用のトウモロコシの下処理をし、午後の授業で試食しました。去年もいい感じのポップコーンに仕上がりに、今年についてもおいしいポップコーンを作ることができました。猛暑の中、農耕当番が水やりをしてくれたおかげで、立派なトウモロコシを育てることができました。次はじゃがいもニンジンも植える予定です！



椎茸シーズン到来

男子棟生徒がメインに動き、任されている仕事として、椎茸栽培する作業があります。秋の収穫に向けて一段目で管理している原木を水槽の中に入れ、浸水し、翌朝引き上げる仕事が今からの時期増えてきます。浸水する理由として、急激な温度変化を与え、椎茸菌を刺激し、発生させます。引き上げた原木については虫食い被害を軽減するため小屋で管理し、椎茸が発生するまで待ちます。あとは秋の味覚、おいしい椎茸が出来上がり、収穫し、島内へ販売します。



運動会の振り返り

運動会の振り返りを行いました。ソーラン節が一番記憶に残ったとの意見が多く、踊りや隊形移動を覚えるのが大変だったみたいです。その他、リレーや団体競技で全力を出せたこと、悔しかったことなど記載されており、この経験を糧に充実した学園生活を送ってほしいと思います。男子棟生徒が全力で競技に取り組む姿勢が見られ、感動しました。この調子で頑張れ！

秋の味覚

学園の畑には栗の木が毎年実っており、今年はみんなで収穫しました。周りのイガを取る人、イガを取った後の実を収穫する人と作業を分担してたくさんの栗の実を収穫することができました。

今回は枯草を燃やすときに一緒に焼いて焼き栗にして食べました。熟し切って発酵したような味のするものや、甘い栗、色んな味がありました。来年は栗を使って何か調理ができたらと思います。

また、前回は紹介させて頂いたカボチャも収穫することができました。畑の作業ではさつまいもも掘る予定で、秋の味覚がたくさんです！



さつまいもチップス

女子棟では、農耕で収穫したさつまいもを使いおやつにさつまいもチップスを作りました。作り方を説明して子どもたちに作って貰いました。テキパキと手を動かし、さつまいもチップスの完成です！味付けはシンプルな塩とはちみつです。

出来立てを頂いたので美味しさが際立っていてみんな「おいしい！」と食べあつという間に無くなってしまいました。女の子たちは調理や食べることが好きな子が多いので収穫したもので積極的に何か作って行けるようにしていきたいです。

授業の様子

最近の授業の様子として、生徒自身がやらないといけない事を理解し、自分たちで必要な物の準備をしてテキパキと作業を行ってくれます。今まで実がうまく実らなかったレモンの実がなったり、収穫が遅れてしまったきゅうりの中で新しく種が芽を出していたり新しい経験ばかりで新鮮です。寒さも増してくるため風邪をひかないように気を付けて今後の作業も頑張っていきたいです。



若竹棟



夏も終わり、寒い季節となってきました。しかし暑さや寒さなど関係なく、若竹の生徒たちは毎日元気に頑張ってくれています。今回は10月に行われた運動会の感想を紹介したいと思います。今年はコロナの影響で安全を第一に考え、生徒達だけで行いました。お見せすることができず残念でしたが、一生懸命に取り組んでくれました。

3年生

最後の運動会なので、全力でやりました。今年の運動会はいつもとちがったのでめずらしかったです。 S・N

競技は3密を避けてソーシャルディスタンスでやりました。3年生は最後の運動会なので、せいっぱいがんばりました。 S・M

2年生

ソーランをやったが踊るのが疲れました。次はリレーをしました。1周しましたが疲れました。 K・T

今年の運動会はソーランとリレーと団体しました。準備係もやりました。最後までやりきれてよかったです。 K・N

たいこをしました。たのしかったです。ポールをけてたのしかったです。つかれました。 O・K



1年生

ソーランで前半は踊って、後半は太鼓をたたきました。なんかも練習して上手にたたきました。 S・K

リレーではアンカーをしました。選手リレーもできました。足がいたかったけど、最後まで走れてよかったです。 N・H



ソーランでたいこをしました。ほんほんでせいこうして、がんばってよかったです。みんな楽しくがんばれました。 T・H

グループホーム有終寮の日々 ～地域の中で～

院内

グループホーム「有終寮うじな」では現在、男性6名・女性4名の計10名が生活しています。今回は、地域生活の様子について紹介します。

有終寮うじなは、宇品4丁目電停そばの住宅地の一角にあります。

おやつや日用品の買い出しには、もっぱら近くのお店を利用しています。セブンイレブン、ディオ、ドン・キホーテなどは、利用者がよく行くお店です。また、ゆめタウンやイオンといった少し大きなスーパーもあります。職員に声をかけてから出かけ、帰ったときも職員に声をかけます。また、門限は22時になっています。仕事が終わって有終寮に帰り、夕食を取ってから買い物に行くこともあり、そんなときは門限を気にしながら戻ってきます。



地域住民の方にも、気を配って生活しています。挨拶をする、騒音などで迷惑をかけない・・・などです。有終寮うじなのオープン当初は、地域住民の皆さんに迷惑をかけたりしないかなど、心配もありましたが、ずいぶん地域に溶け込んできたように感じています。有終寮うじなの利用者は、これからも地域の一員としてここで生活していきます。